

高松高校生が 大阪・関西万博において 探究成果を発表します

令和7年5月30日（金）
香川県立高松高等学校
担当：三崎（当日の取材、
内容に関すること）
電話：087-831-7251

（テーマ） 杉原夫妻から学び、広がる平和へのメッセージ

- 1 日 時：令和7年7月31日（木）第1部 11:00～
- 2 場 所：大阪・関西万博 ウーマンズパビリオン「WA」
- 3 発表者：高松高校人道プログラム実行委員会

高松高校の「人道プログラム」

本校では、一般財団法人三菱みらい育成財団による「心のエンジンを駆動させるプログラム」、公益財団法人日本教育公務員弘済会等の助成を受け、「杉原千畝・幸子氏から広がる人道の輪～高校生同士の交流が世界へと繋がる」のテーマのもと、イスラエルやドイツ大使館表敬訪問や神戸・沼津市長表敬訪問、杉原千畝記念館等を実際に訪れて学びを広げる研修などを、令和4年度から3年間の期間で実施しました。令和6年度にはポーランド、リトアニアへの海外研修を実施したり、また駐日リトアニア大使に本校にてご講演いただいたりして、さらに見聞を広げることができました。

第二次世界大戦中、自分の命の危険を顧みず、ユダヤ難民に対して「命のビザ」を発行した杉原千畝外交官の妻幸子（ゆきこ）氏は本校の卒業生であり、令和5年に生誕110周年を迎えました。ビザ発行の勇気ある行動の影には妻幸子氏の献身的な支えがあったと言われています。

この機会を捉えるとともに、ウクライナやパレスチナで戦争が行われている今、高校生が平和な国際社会の創出に向けて意見交換し、多くの学びを共有し、またその輪を広げ日本国内から世界へと繋げていきたいと考えています。

4 備 考：

第2部「高校生の世界への発信」（場所：EXPOホール）においても、本校2年生1名（烏谷 望芽：からすだに みさ）が、上記の活動を踏まえた、個人での発表を行います。